

令和元年度小松市立東陵小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p><児童会活動を通して、児童の主体性を高める></p> <p>児童がキラリ輝くために、「どんな学校にしたいか」目標を考えさせ、目標に向けての活動を児童自身が企画し、実施できる場を設定し、支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会、各委員会、学級委員で組織された代表議会を開催する。 ・クラスの取り組みについて、代表議会で報告したり、他のクラスと取り組みの情報交換の場を持つたりする。 ・異学年交流のあいさつりレーや縦割り活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会発足後、運営委員会の学校目標として「キラリと輝く、笑顔あふれる東陵小学校にしよう」を設定し、各委員会がそれぞれの目標や活動を実践してきた。職員室前の委員会掲示板を利用し、全校児童にお知らせしたり、呼びかけたりした。2学期も児童が主体的に活動する場を設定していきたい。 ・6月には、中海中生徒と連携しあいさつ運動を行い、その後、クラスや縦割り班であいさつりレーを行い、児童のつながり、あいさつに対する意識を高めることができた。9月のグッドマナーキャンペーンに合わせた取り組みで、あいさつでの児童のつながりを強化していきたい。 ・代表議会では、各委員会の取組や学級での話し合いを報告したり、議会でよりお知らせしたりして、全校児童に発信し、たくさん児童が積極的に活動に参加することができた。学級での取り組み「キラリタイム」を中心に、魅力ある学校づくりを推進していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間、職員室前の委員会掲示板を活用し、目標とその目標に向けた活動や呼びかけ等を、新しい情報を発信してきた。各委員会の取り組みが分かり、行事を楽しみにしている児童も多かった。今後も児童が主体的に活動できるように、継続してサポートしていきたい。また、児童数の減少に伴い、委員会の数や内容の精選を行ってきたい。 ・あいさつ運動では、学年や縦割り班で順番にあいさつりレーを行った。高学年が低学年を並べせたり、声をかけ合ったりする様子うかがえ、積極的にあいさつを交わし児童のつながりが見られた。素敵なあいさつができた児童には、あいさつ賞状を渡しあいさつの重要性を感じさせることができた。今後も取り組みの仕掛けを行ってきたい。 ・代表議会では、限られた時間内に、クラスの取り組みや情報交換する時間の確保が難しかった。引き続き、学級目標の設定、反省や課題を解決するための取り組みを意識させていきたい。
	<p><個に応じた支援をする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに、児童全員分のメモを書く支援ファイルを配布し、活用を図る。 ・児童理解の会や校内支援委員会などを活用し、具体的な指導案や支援策を共有する。 ・個別に支援が必要な児童については、支援会議で相談し、必要に応じて専門相談員に参観及び懇談をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ファイルに記録することにより、支援を必要とする児童についての状況を把握することができた。 ・児童理解の会で話題になった児童について、具体的な支援策を共有することができた。 ・個別に支援が必要な児童については、必要に応じて、校長・教頭・特別支援教育支援員・心の相談員・スクールカウンセラー等に学習の支援を依頼した。 ・個に応じた支援については、今後の方策について具体的に提案していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解の会で話題になった児童について、具体的な支援策を共有することができた。 ・個別に支援が必要な児童については、校長・教頭・特別支援教育支援員・心の相談員・スクールカウンセラー・司書教諭・養護教諭等に学習の支援を依頼した。必要に応じて、特別支援教育コーディネーターが実態把握のために学習の支援をした。 ・個に応じた支援については、児童の状況がその日によって違うので、対応が難しかった。
道徳・人権教育	<p><道徳教育の充実及び家庭・地域と連携した道徳教育の推進を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、保護者に道徳授業を公開する。 ・道徳教育について理解を得るため、「道徳だより」を発行する。 ・人権週間に合わせて、全校で取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の間に、3学年が道徳の授業を公開した。2学期・3学期で全学年1回公開していく。 ・道徳だよりを、1学期末に発行し、道徳ノートを持ち帰った。コメントを書いてくれた保護者の方もいたので、2学期・3学期も継続していく。 ・人権週間(12月)に、取組を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して、どの学年も授業を公開することができた。 ・道徳だよりを、学期末に発行し、道徳ノートも持ち帰ることができた。これからも、継続していきたい。 ・重点目標をA希望と勇氣、努力と強い意志とCよりよい学校生活、集団行動の充実と来年度変えるので、道徳教育全体で主体的な学校生活を送ることができるよう、計画を考えていく。 ・人権週間には、人権集を開き、例年と異なる視点で人権について考えることができ、児童会を中心にユニセフ募金にも取り組むことができた。
	<p><読書の質的な向上を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会等活動でビブリオバトルに取り組み、読書への関心を高める。 ・図書祭りなどを充実させ、読書の質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期図書委員が選書し、ビブリオバトルに向けて準備をしている。今後は、ビブリオバトルを図書委員会の中で行い、その後、全校の前で行い、どのようなものかを全校児童に知らせる。(10月中) ・図書委員会の取組により貸出冊数も増え、違うジャンルの本を読む子が増え質の向上が見られた。本をこれまで借りていない子が借りるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の中では少しずつ進めてきたが、子供たちから出たイベントに重きが置かれ、全校児童に知らせることができなかった。来年度は、委員会の年間計画に位置づけるようにする。 ・「BOOK宅配便」などを通して、教室に本を置くことで違うジャンルの本にも触れるようになった。しかし、なかなか図書館に足が向かない児童も見られる。本当に違うジャンルの本を読むようになったかなど数値化できないかを考えていく。
キャリア教育	<p><系統的・計画的にキャリア教育を推進する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や先輩の人を招聘し体験的活動や啓発的活動を効果的に活用する ・年間計画を活用しキャリア教育の育てたい資質や能力を意識して取り組む。 ・3年の地域学習で地域の先生による講話や見学、高学年対象に先輩の講話を実施する。 ・年度末に年間計画の見直しを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年…公園探検 2年…町探検 3年…お店探検 4年…水のキャラバン隊・中海駐在署さんの話により、地域の方にお話をしてもらい機会を持ち、仕事や地域について学んだ。 ・4月にキャリア教育の年間計画の確認をおこなった。そのなかで体験的な活動でのキャリア教育の視点を持つことの共通理解をはかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間の取組以外に、6年…宮本三郎美術館の学芸員、薬剤師さんによる薬物乱用のお話、赤ちゃんふれあい体験 5年…J A 中海支店の方・地域の農家の方によるコメ作りのお話、を実施し、総合的な学習の時間や生活科、学活に関わらず、専門的な立場から仕事の話聞くことができた。 ・来年度に向け、キャリア教育年間計画の見直しも実施する。
	<p><自分の身体や健康に関心を持ち、生活を改善しようとする児童を育成する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢の大切さについての指導を行い、姿勢をよくするための体操や運動を継続して取り組む。 ・食事のマナーやルールを守ることをねらいとした食育指導を、栄養教諭と担任と一緒に、各学年、年間1回以上実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で朝の姿勢体操に取り組み、姿勢を整え1日をスタートしている。また、金曜日の健康観察の際には、姿勢について1週間の振り返り機会を持った。 ・学校保健委員会では足の裏圧分布測定をもとにした児童保健委員会の発表や石川県立大学宮口教授の話から姿勢と体力や学力の関連を知り、児童の意識改善につながった。良い姿勢の習慣化を目指して、日常的な声かけや姿勢体操を継続し、保護者への啓発を今後も行っていく。 ・1年の食育指導では、「正しい食事の仕方」について学習し、食材をバランス良く食べることの大切さを知ることができた。 ・給食試食会では、保護者対象に、家庭でできる食育指導について伝えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末から約1年間朝の姿勢体操に取り組んだ結果、朝自習を良い姿勢で座った状態が始めた習慣がついた。アンケートでも「姿勢に気をつけている」という児童が増加した。しかし、今年度の後半になると姿勢体操にきちんと取り組まない児童もいた。来年度は体操の内容を前期後期で変更するなどし、意識を高めるようなしつけをしていく。 ・6年の食育指導では、「マナー給食」について学習しマナーに沿った食べ方を知った。 ・2年から5年までの食育指導については、担任任せになってしまった。栄養教諭とのTT授業にならなくても実施できるように年間を見通した指導計画を配布して実践記録を残していきたい。
情報教育	<p><情報機器の効果的な活用を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の情報モラル教育を推進する。 ・タブレットPCを利用した授業改善を行う。 ・市のICT指標をもとに情報リテラシーの育成を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・E-NETキャラバンを活用し、教材の準備や研修をおこない、児童の指導に活かす。 ・OJTでWINDOWSタブレットの活用研修をおこない、授業での活用の機会を増やす。 ・9月に5、6年生対象に情報モラルについての授業をし、スマホの安全な使用法について啓発する。 ・市のICT指標について提案し、2学期中に教科や学活、総合的な学習の時間を使って情報リテラシーの育成を推進する。2学期末には、実施の記録を提出してもらい、確実な実施を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・E-NETキャラバンを活用して研修を行い、教師の危機意識向上につながった ・OJTでの活用研修を行い、教室でタブレットを実際に授業で活用する場面が増えた。しかし、準備等の時間がかかるため、タブレットを使いやすい環境づくりについて考えていきたい。 ・情報モラルの授業を行い、5、6年生に対して安全な使用法について啓発することができた。 ・ICT指標について提案することができなかったので、しっかりと提示し、児童が活用できる環境づくりを考えていきたい。
	<p><地域に開かれた学校づくりを推進する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や外部人材を活用することで、地域に関心を持たせ、社会へアクティブに関わる態度を育成する。 ・家庭・地域に学校の教育活動について情報発信し、地域に開かれた学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、「学校からの情報提供により、学校教育の様子がよくわかる」が、どの学年も85%を超えていた。学級通信や学校便りなどが、こまめに発行されていたことがわかる。 ・市学校保健研究協議会では、3人のゲストティーチャーをお迎えし、研究授業を展開した。生活科での町探検、総合的な学習、社会科での外部人材の活用などを1学期行ってきた。2学期以降もこまつサイエンスヒルズとのプログラミング学習、理科での連携も含め、小松市の資源を活用した授業展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりをはじめ、各種便りについては保護者に定期的に発行されているため、学校教育の様子はおおむね保護者には理解されている。個々によって違いはあるので、必要な情報発信は来年度も心がけていく必要がある。 ・市レベルでの施設の利用や人材の活用はできていたように思う。しかしながら、校区の地域人材の活用については、総合的な学習の時間やキャリア教育の見直しなどを基に、次年度の課題としたい。

学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園でも次年度から道徳教育に力を入れようと考えている。相手の気持ちになって考えられる子どもを育てていくために、保育園も小学校の実践をお手本にしながら進めていきたい。 ・大人になって読書の大切さに気づく人は多い。読書を始めるきっかけは人それぞれであるので、本を読みたくくなるような働きかけをこれからも多方面から進めてほしい。 ・姿勢を正しくする取り組みは、保育所でも共通。保小を通して姿勢の良い子どもを育てていけることができたらい。 ・自分で計画を立てて家庭学習をしている児童の割合が多いことに驚く。他の人のノートを見ることで自分の刺激になることもある。これからも自学の継続、質を高める取り組みを進めていってほしい。 ・自分の意見を言える子に育ててほしい。そのためには、一人一人の成長も必要だが、教室内で何でも言える雰囲気作りも作り上げてほしい。間違った意見でも受け入れてくれるような人間関係が基になるが、それを築き上げるキラリタイムや縦割り活動などの取り組みは貴重なので、是非来年度も継続してほしい。
---------	--